

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 7 月 31日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都千代田区二番町5番地25

氏名 株式会社 そごう・西武
代表取締役 林 拓二

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 (代表者の氏名)	株式会社 そごう・西武 代表取締役 林 拓二				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都千代田区二番町5番地25				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	56 各種商品小売業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	10,568	kl	自動車の台数	台

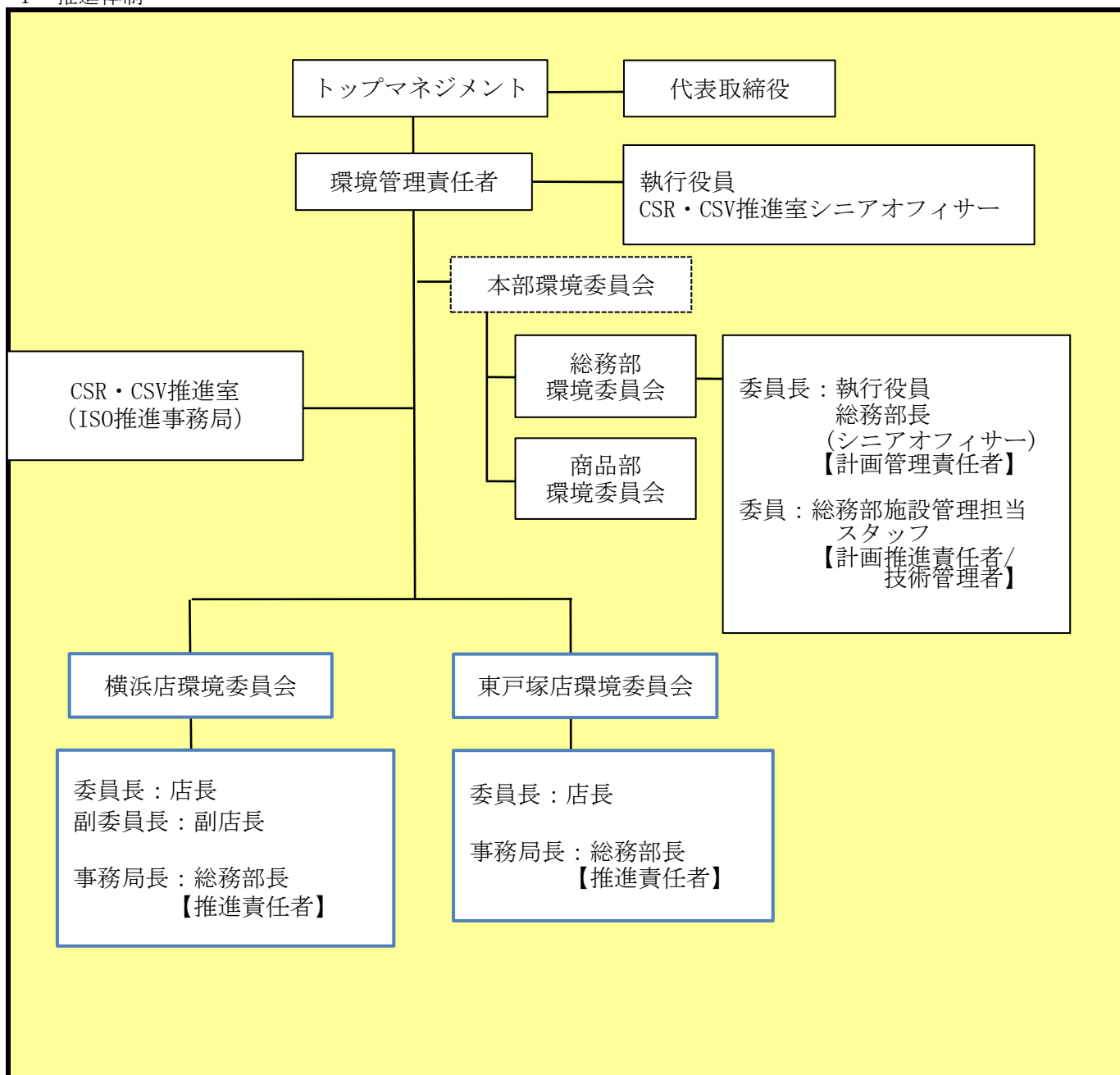
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ~	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>そごう・西武「環境方針」(http://www.sogo-seibu.co.jp/csr_rinen.html)に基づき地球温暖化対策を推進。 ※環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を取得済み（西武1999年、そごう2011年）</p> <p><基本理念> 私たちは、企業市民として社会的責任を自覚し、環境・社会・経済が一体となった事業活動を通じ、お客様やお取引先、地域と共に、「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組みます。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ・そごう横浜店：空気調和設備（平成22年度～平成30年度） ・西武東戸塚店：更新予定なし</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 送風機へインバータを導入し、電気使用量の削減を図る。</p> <p>③設備更新スケジュール 9ヶ年（平成22年度～平成30年度）計画中、7期まで完了（57台）。残り2ヶ年で、20台更新予定。</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	各店舗 総合事務所総務部
	所在地	横浜店：西区高島2-18-1 東戸塚店：戸塚区品濃町537-1
	閲覧可能時間	営業日の10：00～18：00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他	全社の環境取組概要は、そごう・西武ホームページよりダウンロード可能	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	22,246	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	21,882	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	21,579	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>各店において空調機や照明器具・ランプの高効率化を推進し、3%削減を達成するように各取組を実施する。</p> <p>①家主と連動し、空調機更新インバータ化に取り組む。（横浜店） ②売場改装時のLED照明の積極的導入 ③既設照明器具のLED化</p>								
事業者全体としての目標等	全社的な取り組みとしては本部が高効率機器などの情報収集に努め、各店舗年齢等条件に合った施策の提案に努める。								
第一年度 (2016年度)	排出量	22,304	t-CO ₂	削減率	▲ 0.3 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	21,740	t-CO ₂	削減率	0.6 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<p>・横浜：空調機更新工事及びLED照明器具の導入を進めているので、電気使用量は前年より減っている。熱源機器の運用状況により都市ガスの使用量が前年より増えているが事業者全体としては削減できている。</p>								
第二年度 (2017年度)	排出量	21,895	t-CO ₂	削減率	1.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	20,676	t-CO ₂	削減率	5.5 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<p>・横浜：空調機更新工事及びLED照明器具の導入を進めているので、電気使用量は前年より減っている。熱源機器の運用状況により都市ガスの使用量も前年より削減できている。</p>								
第三年度 (2018年度)	排出量	20,861	t-CO ₂	削減率	6.2 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	19,250	t-CO ₂	削減率	12.0 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<p>・横浜：空調機更新工事及びLED照明器具の導入を進めているので、電気使用量は前年より減っている。</p> <p>・東戸塚：当年度においては、昨年9月の営業時間変更により上半期の排出量が削減された。</p>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>・横浜：2018年までに空調機更新工事及びLED照明器具の導入がほぼ完了したので、電気使用量が毎年削減出来ている。</p> <p>・東戸塚：計画期間中で営業時間の変更があり、排出量は削減となった。また照明器具をLEDに更新したが、2019年2月実施と期末であったため目標未達となった。</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	1	17,478	1	17,492	1	17,159	1	16,154
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,768	1	4,812	1	4,736	1	4,707
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	2	22,246	2	22,304	2	21,895	2	20,861

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	家主による整備		非該当	/	—	年度	家主による整備		非該当	/	—	年度	家主による整備		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		売場、後方施設の一部をLED化	実施中	1/2	—	2018年度		売場、後方施設の一部をLED化	実施中	1/2	—	2023年度		売場、後方施設のLED化	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)冷凍機10台	10/10	年度			実施済	(設備の種類)冷凍機10台	10/10	年度			実施済	(設備の種類)冷凍機10台	10/10	年度			
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)冷凍機10台	10/10	年度			実施済	(設備の種類)冷凍機10台	10/10	年度			実施済	(設備の種類)冷凍機10台	10/10	年度			
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	/	年度	対象設備なし		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		4.04 %		20,861		1,463.9		620.7		843					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	既存蛍光灯器具1076台をLED器具に交換	そごう横浜	2015	蛍光灯器具40W2灯用・40W一灯用/社員食堂114台・催事場634台・各階休憩室、後方通路他328台	昼間買電	281	千kWh	143.9	LED器具31.8W・34W・18.1W/社員食堂114台・催事場634台・各階休憩室、後方通路他328台	昼間買電	139	千kWh	71.2	72.7	43,300 千円
2	既存蛍光灯器具908台をLED器具に交換	そごう横浜	2016	蛍光灯器具40W2灯用・40W一灯用・32W4灯用・36W4灯用・36W3灯用/各階事務所、後方通路776台、社員食堂41台、納品場91台	昼間買電	175	千kWh	89.6	LED器具18W・28W・29W・48W/各階事務所、後方通路776台、社員食堂41台、納品場91台	昼間買電	69	千kWh	35.3	54.3	32,000 千円
3	既存蛍光灯器具1226台をLED器具に交換	そごう横浜	2017	蛍光灯器具40W2灯用・36W3灯用・36W1灯用・32W4灯用・36W4灯用・ダウンライト150W 70W 42W他/2階通路340台、各階エスカレーター周り196台、天井277台、通路413台	昼間買電	354	千kWh	181.3	照明器具のLED化工事1226台 2階通路340台、全階エスカレーター周り196台、天井277台、通路413台	昼間買電	147	千kWh	75.5	105.8	34,753 千円
4	既存蛍光灯器具2498台・HDIスポット関係1783台 合計4281台をLED器具に交換	そごう横浜	2018	蛍光灯器具21W8灯用・40W4灯用・3灯用・2灯用・1灯用・20W4灯用・32W3灯用・55W4灯用・3灯用他/売場ベースライト2498台、スポット1783台	昼間買電	1,730	千kWh	886.0	照明器具のLED化工事各階4281台	昼間買電	737	千kWh	377.2	508.8	237,810 千円
5	既存蛍光灯器具をLED器具に交換	西武東戸塚店	2018	スクエアタイプ FPL36*3灯×325台 ダウンライトFHT42*1灯×14台 ダウンライトFHT42*2灯×474台 ダウンライトFHT42*3灯×16台	昼間買電	318,731	kWh	163.2	スクエアタイプ50W×158台 スクエアタイプ44W×167台 ダウンライト19W×14台 ダウンライト31W×474台 ダウンライト42W×16台	昼間買電	120,071	kWh	61.5	101.7	28,900 千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明設備	2016年度	908台（18W・28W・29W・48W）	平成28年度CO2排出量：▲ 54.3[t-CO2]
2	LED照明設備	2017年度	1226台（76W～7W）	平成29年度CO2排出量：▲ 105.8[t-CO2]
3	LED照明設備（横浜）	2018年度	4281台（81W～9.2W）	平成30年度CO2排出量：▲ 508.8[t-CO2]
4	LED照明設備（東戸塚）	2018年度	829台（50W～19W）	平成30年度CO2排出量：▲ 101.7[t-CO2]
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	1,611	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	当社環境方針に基づき、お客様と共に進める環境・社会貢献活動を「4つの柱・9つの取り組み」を実施。具体的には環境商品の品揃え・簡易包装推進・環境イベント開催・地産地消・電力削減・リサイクル向上・両面印刷など紙使用削減を全従業員にて推進。 ※ISO14001を全店舗取得済み。
計画期間内に実施する対策	当社環境方針に基づく上記活動を、全従業員及びお客様へのお勧めとして計画的に実施。具体的には下記の「未来の森作り/植樹・育樹」活動等を行う。 ①ギフトの簡易包装・「マイバッグ」の協力依頼と、その成果として植樹活動の実施。 ②有料の「グリーンラッピング」を購入頂き、費用の一部で植樹の実施。
第一年度実績	上記施策の継続的実行 及び クールビズ商品をライフスタイルとして提案・発信した。
第二年度実績	上記施策の継続的実行 及び クールビズ商品をライフスタイルとして提案・発信した。
第三年度実績	上記施策の継続的実行 及び クールビズ商品をライフスタイルとして提案・発信した。

14 実施状況等に対する自己評価

私たち自身の環境保全活動に加え、当社の事業活動を通じて、お客さまやお取引先の活動にも良い環境影響を及ぼすように努めました。
